

第38回はばたきアーチェリー大会

申し合せ事項

(1) 4分6本→矢取りの順序にて行う。

練習は2回行う。

各部門ともリカーブは80cm標的面、コンパウンドは6リング標的面を使用する。

ただし、12m、18mについては80cm標的面で統一する。

①②③④⑤部門については、72射で行う。

⑥、⑦部門については、36射のみで行う。

(2) 何らかのトラブルで行射が中断されたときは、トラブル解消後、1射につき40秒間を与え、再開する。

ただし、弓具故障の対応時間は最大5分間とする。

(3) 行射終了後はスコープを覗くなどはせずに、速やかにシューティングラインから離れること。

(4) 行射に際して介助者が必要な場合は、各自で手配すること。

(5) 時間管理は、電光掲示及びブザーによって行う。

(6) スコアカード提出時は、必要事項をもれなく記入し、集計チェックを行ってから提出すること。

(7) 競技中に中止の判断が下された場合は、その時点の合計点数を参考記録として、順位づけを行う。

(8) 雷の音、または光を1回以上確認した際、プレーを中断しその時点で大会は終了し、試合進行中の場合は、項目7の通り順位を決定する。

(9) その他、競技進行に関しては審判長の注意・指示に従うこと。